



令和6年8月30日(金)



教務だよい

No. 3

発行

教務主任 工藤雅人

～美園小学校の 特別支援教育～ 特別支援コーディネーター石川 裕貴 筆

現在美園小学校には、お子様の発達の課題や実態に合わせた教育を行うために、「支援員による支援」、「通級指導教室」、「特別支援学級」が用意されています。今回はその概要を紹介します。

◇支援員による支援



美園小学校には特別支援教育支援員が配置され、今年度も三浦先生が担当します。

各学級に週に1～2回、学習の支援という形で指導に入り、特に学習に困っているお子さんの支援に入ります。この支援員を活用する際は、学級の担任に相談してください。支援員は1名しかいないため、毎時間のフォローは難しい状況です。

◎通級指導教室（チャレンジ教室）



例えば、「集中力が続かない」、「コミュニケーションをとることが難しい」など、学習面や生活面で課題を抱えているお子さんに対して、週に1～8時間、別室にて学習する形態を通級指導と言います。美園小学校では「チャレンジ教室」と呼んでいます。

そこでは、それらの課題を少しでもクリアしていくため、ソーシャルスキルトレーニングなど訓練的な学習を行います。今年度は野宮先生と藤島先生と佐藤先生です。所属は通常の学級のままでですが、この教室を利用する際は、市への申請が必要になります。



☆特別支援学級（このみ学級）

例えば、「集団が苦手で…」、「学習に集中できなくて…」などの課題があり、健康上、個別の対応をしたりする場合に、少人数でお子さんに見合った学習を行い、自立へ向けた教育をしていく学級を特別支援学級と言います。

美園小学校には「自閉症・情緒学級」・「知的学級」・「肢体不自由学級」の3つの学級があり、今年度は9名の先生が指導に当たっています。個別にお子さんの課題に合わせた教育をしていくことで苦手を克服し、さらなる成長を促していきます。所属は支援学級となります。お子さんの社会性を養うために体育や音楽・図工などを同じ学年の通常学級に行って学習することもあります。支援学級に入級する際は、市への申請が必要になります。

お子様の日々の様子から「学力がなかなか伸びない」「友達とうまくコミュニケーションがとれない」などの悩みを抱えているご家庭もおありかと思います。支援の方法だけで成長を促せるケースが多くあります。美園小学校には特別支援学級コーディネーターが2名（今年度は石川・野宮）おりますので、担任を通じて気軽にご相談いただければと思います。